地域消費情報
美祢通信

「温泉付き有料老人ホームの利用権」をめぐるトラブルに注意!!

被災者支援などを名目とした「温泉付き有料老人ホームの利用権」の売買に関する勧誘をめぐるトラブルが、全国各地で多数発生しています。

実際にこんな相談が寄せられています…

温泉付き老人ホームの利用権の購入申込書が送られてきた。利用権を購入すると、配当金が年6～8%つくという。
その後、NPOを名乗る団体から電話があり、「東北の地震で被害にあった人たちを助けるために温泉付き施設を提供してほしい。20万円で権利を購入してもらうと48万円で買い取る」と言われた。

どのようなしくみで利益が得られるか、どのようなリスクがあるのかなど、取引の内容が理解できなければ、絶対に契約をしてはいけません。
不審に思った場合、被害に遭った場合などは、すぐに消費生活センターや警察に相談しましょう。

美祢市消費者の会　会員募集中です!!

エコ活動や消費生活トラブル防止の啓発に興味をお持ちの人は、事務局までご連絡ください。

美祢市消費者の会
（事務局　商工労働課〔☎0837(52)5224〕）

※次回は『業務提供誘引販売取引』について詳しくご紹介します。

問合せ先　商工労働課〔☎0837(52)5224〕

まちかどホットライン

6/5　草原遊びと森のピザ屋さん

県秋吉台少年自然の家において、美東町地域活動（母親クラブ）連絡協議会の主催で、市内の親子づれ約160人が参加するなか開催されました。
会では、本の読み聞かせ、ちょるる体操やジャンケンゲームをした後は、野外の炊事場でピザに思い思いのトッピングをして、ドラム缶で作った窯で焼き上がったピザをたべ、親子の絆を深めていました。

消防協力者表彰（感謝状）について　6/7

大嶺町重安の工場を解体している、㈱オリザ（埼玉県入間市）に勤務されている、堂薗道雄さんと宮坂賢さんに、消防長が感謝状を贈呈しました。
堂薗さんと宮坂さんは、平成23年5月に大嶺町で発生した建物火災において、仕事先から車で走行中に建物から発生している黒煙をみて火災と気づき、危険を顧みず、迅速な119番通報及び初期消火を実施し火災の延焼拡大、被害を最小限に食い止められました。堂薗さんは、「とにかく消したいという思いだった。日頃の消火訓練が役立った。」と述べられました。

6/22　入山アキ子さん寄附

入山アキ子さんが、5月28日に秋吉台国際芸術村で開催された、「ふるさとチャリティーコンサート」の収益金を寄附に来庁されました。
コンサート当日は、地元出身ということもあり、多くの人が来場されました。また、この度の寄附は、東日本大震災の被災地復興に役立ててもらうために義援金として、寄附されました。

第1回美祢市観光協会通常総会　6/29

秋芳ロイヤルホテルにおいて、美祢市観光協会の第1回通常総会が、開催されました。
総会では、従来の事業に加え、着地型観光推進、ジオパークへの登録、そして会員自ら観光PRに努めてもらう観光誘致宣伝員事業などの新たな取り組みが承認されました。また、新事業の受け皿として法人化の検討と、組織基盤を強化していくことが確認されました。協会では平成23年度の新会員を、引き続き募集しています。

6/30 全国初!! 刑務所敷地内施設を災害時の避難所に指定

美祢社会復帰促進センター敷地内にある豊田前保育園を災害時の避難所に指定する協定の締結をしました。

この協定は、災害時に美祢社会復帰促進センター敷地内の御注連会館を避難所に指定し、1階武道場を避難者に開放し、2階保育園を避難所の運営にあたる市職員の連絡・待機場所とするものです。

締結にあたって花村博文センター長は、「地域との共生を実現するもので、市の安全・安心なまちづくりに貢献したい。」と述べられました。

美祢市小中学校PTA連合会から寄附 7/11

美祢市小中学校PTA連合会から東日本大震災の義援金として寄附されました。

この度の震災では、多く子どもたちが犠牲になっており、また家族を無くした子どももいる状況を受け、被災した子どもたちを支援するために、7月2日に開催された小中学校PTA連合会研修大会において集められたものです。高山会長は「現地で直接支援できないので、少しでも力になればうれしい。有効に活用して欲しい。」と述べられました。

春の叙勲受賞者

瑞宝小綬章　福田徳郎氏　（大嶺町）

平成23年春の叙勲受賞者で長年の功績を認められ、福田徳郎さん（大嶺町）が、瑞宝小綬章を受賞されました。

福田さんは、公立学校長、県教職員課長、県教育次長などの要職を歴任され、その間、特色ある学校作りや様々な教育課題に取り組まれてこられました。また、退職後は、美祢市教育委員会教育長として平成13年から８年間にわたり、市の教育行政の振興・発展に尽力されました。

旭日双光章　稗田良子氏　（大嶺町）

平成23年春の叙勲受賞者で長年の功績を認められ、稗田良子さん（大嶺町）が、旭日双光章を受賞されました。

稗田さんは、開業助産師として25年、勤務助産師として22年、助産技術ときめ細やかなケアを提供し、その間、㈳日本助産師会山口県支部の役員、支部長などの要職を歴任されてこられました。また、現在は、市が委託する新生児訪問、母親学級などの講師としても活躍されています。

瑞宝双光章　原田和雄氏　（豊田前町）

平成23年春の叙勲受賞者で長年の功績を認められ、原田和雄さん（豊田前町）が、瑞宝双光章を受賞されました。

原田さんは、自分に与えられた職務を全うするという精神で業務にあたられ、海上保安庁で33年間、全国の海において警備救難、その後、国土交通省や下関水産大学校でも勤務され、海の安全に尽力されました。また、このたびの受賞にあたり市に寄附いただきました。

瑞宝単光章　髙見哲氏　（東厚保町）

平成23年春の叙勲受賞者で長年の功績を認められ、髙見哲さん（東厚保町）が、瑞宝単光章を受賞されました。

髙見さんは、昭和22年以来、消防団員として40年間、消防人として消防の発展に尽力され、積極的に消防の近代化の資機材の充実の必要性を訴え、消防施設の拡充強化に尽力されました。また、後進の教育や管内を巡回するなどして防火思想の高揚に尽力されました。

瑞宝単光章　岡邑忠美氏　（美東町）

平成23年春の叙勲受賞者で長年の功績を認められ、岡邑忠美さん（美東町）が、瑞宝単光章を受賞されました。

岡邑さんは、昭和27年以来、消防団員として50年間、消防人として消防の発展に尽力され、積極的に消防の近代化を図り、消防水利の確保のため、防火水槽の設置に尽力されました。また、地区内の防火診断を実施するなど防火思想の高揚にも尽力されました。